

古山 考える葦

児童の合言葉
○英語いっぱい
○音楽いっぱい
○草花いっぱい
○笑顔いっぱい

令和6年5月15日発行 発行者:秋山 貴子

5月



【かんぴょうの苗植え】

風がさわやかに感じる季節になりました。新年度が始まり、早くも1か月半が経ちます。4月に入学した1年生たち、進級してクラス替えがあった子どもたちも徐々に新しい環境、新しい担任、新しい学級に慣れ、元気に学校生活を送っています。

4月末に実施した家庭訪問では、大変お世話になりました。子どもたちの健やかな成長のために、学校とご家庭との連携を図りたく家庭訪問を実施しました。ご多忙の中、ご協力いただきありがとうございます。ベテランの教員たちの中に、若かりし頃の家庭訪問で「新採の先生ですよ。私たち保護者も応援してますね。」と温かい励ましの言葉をもらったことを思い出していました。古山小学校にも若い教員がたくさんいます。子どもたちを大切に思う気持ちはベテランも若手も同じです。どの職種にも初めからベテランはいません。是非とも温かくご支援いただけるようお願いいたします。古山小学校は全教職員で「チーム古山」として全児童を支援・指導してまいります。

♪ 授業参観・避難訓練・引渡し訓練・(6年親子学びあい教室) ♪

5月2日、午前中に授業参観を行いました。1年生は初めての授業参観に、朝から「先生、今日はママが学校に来るの。」「パパがお休みだから来て言ってくれど忘れないかな？」などたくさん話しかけてきました。たくさん子どもたちがワクワクドキドキしながら学習していました。他の学年の子どもたちも、保護者の皆さんと一緒に学習したり、学習の成果の発表を見ていただいたりしていました。

6年生の子どもたちと保護者の皆さんは、授業参観の前に親子学びあい教室を実施しました。インターネット利用の課題について、栃木ネット利用アドバイザーからの講話を聴きました。子どもたちには、学校でも家庭でもインターネットを正しく使わせ、よりよい生活につなげていきたいです。

午後は、避難訓練を実施した後、引渡し訓練を行いました。地震発生後火災が起きたことを想定し、避難方法や経路を確認しました。「自分の生命は自分で守れるようどんなときにもどんな場所でも安全に避難できるようにしてほしい。家族とも地震や竜巻の時にどうするか話し合ってください。」と校長から子どもたちに伝えました。保護者の皆さんの協力で、スムーズに引渡しの訓練もできました。大変お世話になりました。



♪ 学校運営協議会 ♪

4月24日、令和6年度第1回学校運営協議会を実施しました。学校運営協議会は、学校と保護者や地域の方がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。古山小では校長や地域連携教員を含め9名の委員で構成されています。第1回目の学校運営協議会では、会長を選出しました。協議事項として、校長より令和6年度の学校経営について説明し、承認をしていただきました。また、55周年記念行事等についても協議しました。校内視察・授業参観も行いました。



*承認いただいた学校経営方針のダイジェスト版は次頁のとおりです。





児童の実態
児童の願い
地域・保護者の願い
時代や社会の要請

令和6年度 古山小学校の教育

学校教育目標

**豊かな心と健康な体をもち 自ら考え
正しく判断し 実践できる子どもの育成**



関係法令
学習指導要領
教育ビジョンとちぎ
下都賀地区学校教育の重点
下野市学校教育計画
石橋中学区小中一貫教育ビジョン

目指す児童像

進んで学ぶ子ども(知)

- ・学び方が身に付いている子
- ・自ら考え表現できる子
- ・みんなと学び合い高め合う子
- ・よく学び、工夫する子

心ゆたかな子ども(徳)

- ・あいさつや返事がよくできる子
- ・だれとも仲良くし親切ができる子
- ・本をたくさん読み、美しいものに感動できる子
- ・素直で思いやりのある子

たくましい子ども(体)

- ・積極的に体を動かす子
- ・健康や食と安全に気を配れる子
- ・自分の命は自分で守れる子

目指す学校像

- ・学びあい、活力のある学校
- ・自他の良さを認め合える居かいのある学校
- ・一人一人が目標に向かって精一杯頑張る学校
- ・安全安心で、豊かさのある学校
- ・保護者、地域と連携し、信頼される学校

目指す教職員像

- ・児童を第一に考え、主体的に行動できる教職員
- ・温かさの中にもけじめをもって指導できる教職員
- ・自己を磨き、努力を惜しまない教職員
- ・変化に柔軟に対応できる教職員
- ・子ども、保護者、地域から信頼される教職員

学校経営の方針

- (1) 指導方法の工夫・改善に努め、児童が、「分かる喜び、学び合う楽しさ」を味わい、確かな学力と、生涯に渡って学び続けようとする態度を育む。
- (2) 児童一人一人の人権が尊重され、互いに認め合い助け合いながらそれぞれの個性や能力が発揮できる「安心感と自信をもって学べる学校づくり」を全教職員で進める。
- (3) 自らの健康を考え、実践できる力を育み、自他の生命を大切にしようとする態度の育成を図る。
- (4) 児童にふさわしいことを愛し、自分の身近な人々や社会のために働こうとする態度を養わせ、家庭や地域との連携を深め、地域とともにある学校づくりに努める。
- (5) 教職員一人一人が自らの力を発揮し、信頼し合い、認め合い、同僚性の高い職場環境をつくる。

努力点及び主な具体策

頭づくり

- ア 基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。
- ・個に応じた指導
 - ・教材の工夫
 - ・学びの保証(わかる楽しさ、できる楽しさの実感できる授業)
- イ 「主体的・対話的で深い学び」の育成
- ・目標を明確にしようとする指導と振り返りの充実
 - ・各教科等の特徴に応じた言語活動の充実
 - ・外国語教育の充実
 - ・外部講師の積極的な招聘
 - ・体験活動・言語活動の充実
- ウ 「学び方」の指導を通して、自力解決能力の育成
- ・学習規律や基本的な学び方の指導
 - ・ICTの効果的な活用
 - ・家庭学習習慣の育成
 - ・読書内容の充実
 - ・総合的な学習における思考を深める活動の充実

心づくり

- ア 信頼関係を基盤とした、安心感のもてる学級経営
- ・学級担任と児童、児童同士、学級担任と保護者との信頼関係の構築
 - ・学業指導中心の学級づくり
- イ 当たり前のことを当たり前にする態度の育成
- ・自己肯定感の向上
 - ・教職員による共通指導
 - ・児童理解に基づいた組織的な児童指導の推進
 - ・きめ細やかな教育相談の充実
- ウ 多様性を認め合い、一人一人が生き生きと活動できる温かい人間関係の醸成
- ・互いの人権を大切にする認め合い育ち合える学校・学級づくり
 - ・異年齢交流、多様な人材との交流
 - ・委員会活動やクラブ活動等特別活動の充実
 - ・特別支援教育の充実

体づくり

- ア 体力向上を図る指導の充実と意欲的に体力づくりに取り組む態度の育成
- ・楽しく運動量のある体育の授業の工夫
 - ・めあてをもって取り組む業間や行事の工夫
 - ・外遊びの奨励
- イ 自他の生命を大切にしようとする態度の育成
- ・安全指導の徹底による危機回避能力の育成
 - ・新型コロナウイルス感染症対策の推進
- ウ 健康教育の推進と望ましい生活習慣の育成
- ・よい姿勢の習慣化
 - ・食育の充実と望ましい食習慣の形成
 - ・心の回復力や自己指導能力の向上
 - ・生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業

合い言葉「英語いっぱい」「音楽いっぱい」「草花いっぱい」「笑顔いっぱい」

家庭・地域から信頼される学校づくり

- ア 家庭・地域との連携の強化
- ・学校運営協議会・PTA・学校支援ボランティアとの協働
 - ・地域の教育資源の活用
 - ・小中一貫教育の推進・各種便り・ホームページや回覧を利用した積極的な情報発信
 - ・児童理解に基づいた丁寧な保護者対応
- イ 安心・安全な環境づくり
- ・施設・設備の安全管理の徹底
 - ・日常における具体的な安全指導
 - ・危機管理マニュアルを活用した関係機関との連携
 - ・避難訓練等による危機回避能力の育成
- ウ 教職員の資質・能力の向上
- ・同僚性の高い『チーム古山』
 - ・研修の充実
 - ・報告・連絡・相談の徹底による組織力の強化
 - ・業務改善の推進(働き方改革の推進)
 - ・服務の厳正